

# 経理業務の 改善を実現



for finance



## 会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

特長

機能

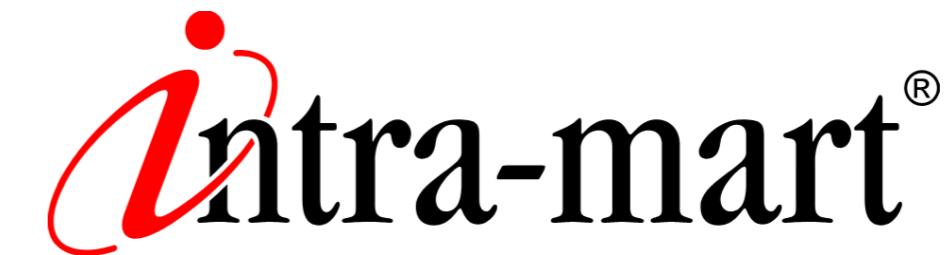
料金

**DPS for finance**と繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# 会社概要



社名	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート (略称：NTTデータ イントラマート)
本社	〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ5階
営業所	五反田事務所、香港事務所、関西営業所
設立	2000年2月22日
資本金	73,875万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● パッケージソフトウェア「intra-mart」の販売</li><li>● 上記に付帯するシステム開発、保守、教育及び運用</li><li>● イントラネット／エクストラネットに関するコンサルティング</li><li>● その他付帯する事業（パッケージに付随する機器販売等）</li></ul>

会社概要

会計フロントシステムとは

DPS for finance 財務シリーズとは

特長

機能

料金

DPS for financeと繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# 会計フロントシステムとは

会計フロントシステムとは、会計システムの前側（フロント）に会計システムではたりない機能やカバーしきれない個社業務を業務改善基盤として構築したものです。個社業務にFITしたシステムを構築することで、自社の業務改善につなげることができます。

## 会計システムと会計フロントシステムの違い

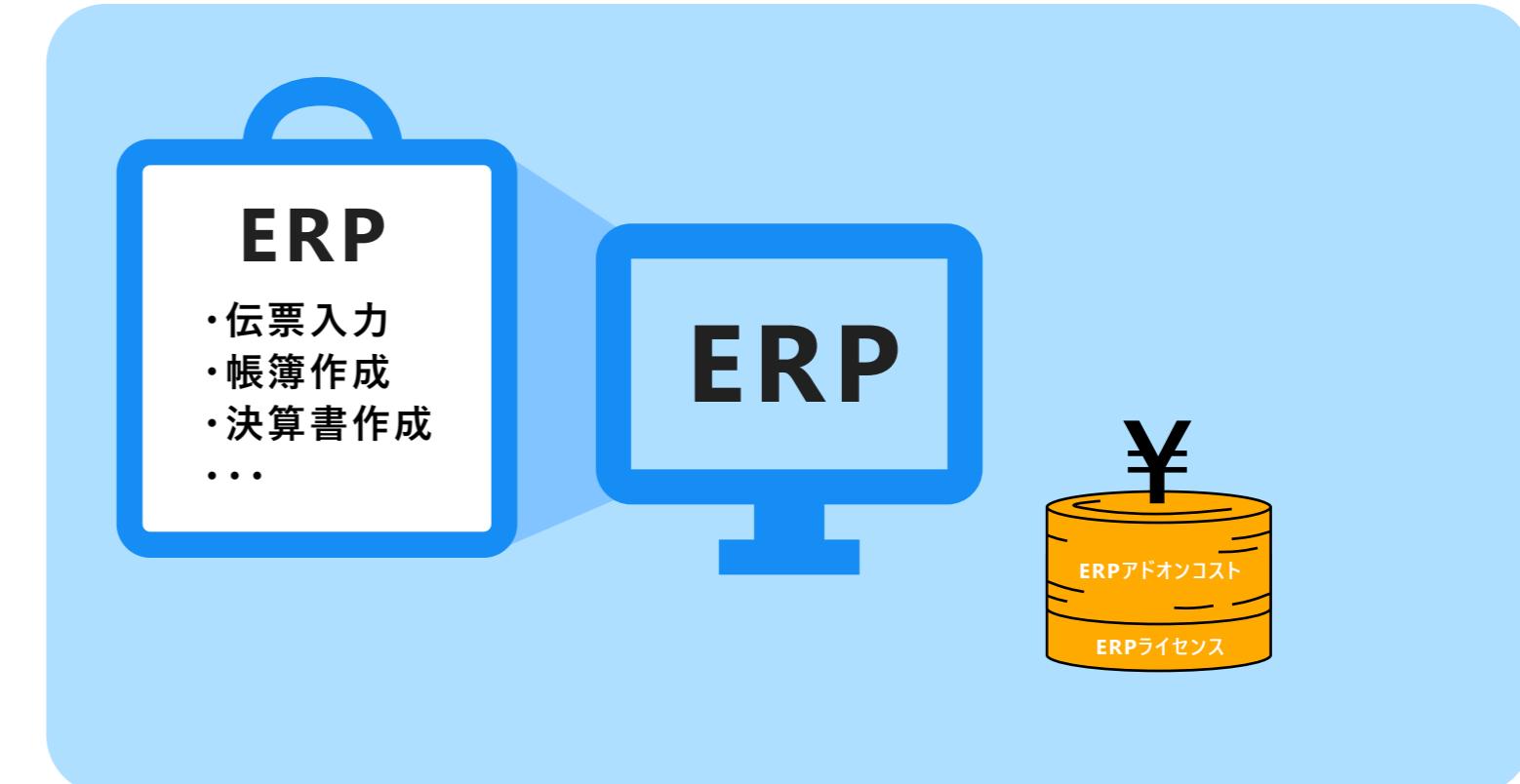
会計システムとは、企業の財務会計や管理会計などの会計業務をIT化して、効率よく進めるためのシステムです。多くの場合は、帳票の作成や社外へ報告するための決算書の作成といった機能が備わっています。

会計フロントシステムは会計システムでカバーできない複雑な承認ワークフローや電子化された請求書のタスク管理など、会計システムへのカスタマイズが必要な経理業務の改善に関わる要件を会計フロントシステムへ集約しています。

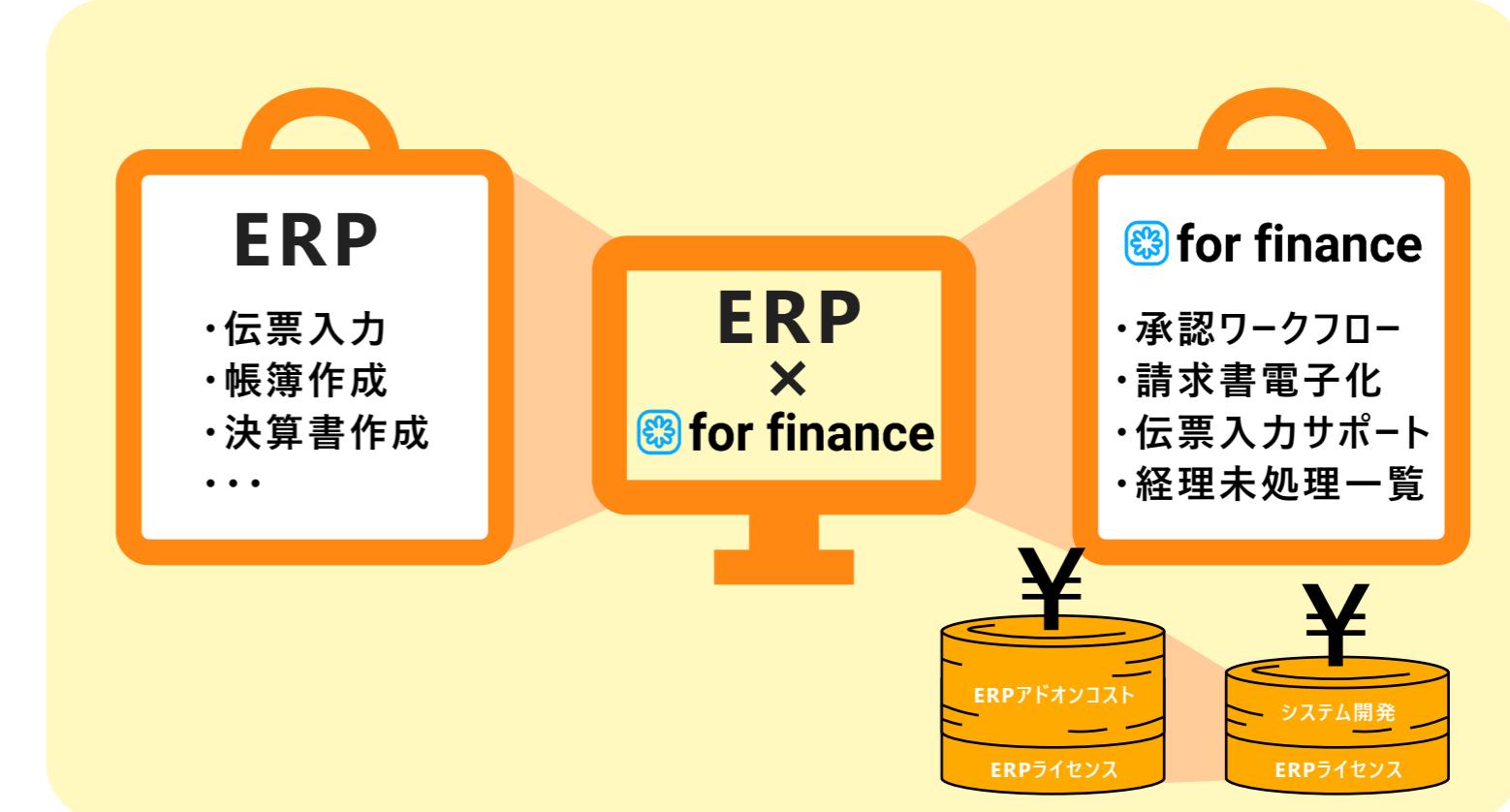
## 会計フロントシステムの導入メリット

これまで会計システムにカスタマイズしていた個社要件をフロントシステムで構築することで、会計システムを標準（ノンカスタマイズ）で運用することで、会計システムの保守切れに対応することができます。会計システムを標準運用することで、会計システムのリプレースにかかる費用を抑えることができます。また、フロントシステムでは画面を自由に設計できるため、経理担当者にストレスなく業務を行っていただけます。

## 会計システムのみ導入



## 会計システム + フロントシステム導入

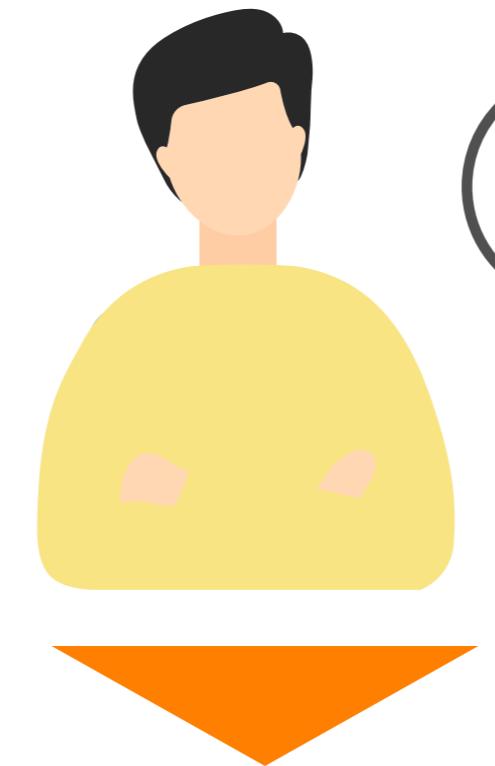


経理向け業務をフロントシステムで開発することで  
同じ業務でも開発コストを抑えることが可能

# 財務会計でこのような課題はありませんか？

- ✓ ルーティンワークの煩雑化...
- ✓ 請求書確認のための出社...
- ✓ ERP画面の入力工数の拡大...

- ✓ 管理システムの老朽化...
- ✓ 紙やExcelの二重管理...
- ✓ 既存システムのブラックボックス化...



**DPS for finance 財務シリーズで  
経理業務の改善を実現します。**

会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

特長

機能

料金

DPS for financeと繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# financeシリーズとは

数多くの会計フロントプロジェクトを経験してきた  
当社のノウハウを結集したソリューション

共通機能系と画面系を分類し、ERPとの業務範囲切り分けを行ったうえで、業務効率化に直結するフロントシステムを提供します。

テレワーク中も、「郵送で届く請求書を会社に取りに行く」、という悩みを各企業の経理ご担当者様からお聞きします。DPS for financeは、紙に依存した経理業務を改善し、テレワーク環境に必要な機能を提供いたします。請求書電子化サービスと連携することにより、電子帳簿保存法のスキヤナ保存要件にも対応しており、これらを活用することで、新しい業務のスタイルが生まれます。

DPS for finance構成図



# financeシリーズが解決する財務会計システムの課題

## 課題

- ✓ ルーティンワークの煩雑化
- ✓ 請求書確認のための出社
- ✓ ERP画面の入力工数の拡大
- ✓ 紙やExcelの二重管理



## 解決策

- テレワーク環境に対応
- 大量の請求書を複数メンバーでタスク処理
- 計上・申請漏れ防止
- エラーチェック機能で確認工数の削減
- オーダーメイド画面開発



会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

**特長**

機能

料金

DPS for financeと繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# 選べる2つのプラン

「DPS for finance 財務シリーズ」の製品構成は財務フロント基盤「BASE」と財務テポスト「POST」の2つの構成から成り立っています。自社の課題に合ったプランからお選びいただけます。また、導入前にしっかりと課題のヒアリング、要件定義を入念に行い導入のサポートを支援します。

## DPS for finance

# POST

各担当者は自分が処理しなければならない請求書の内容や件数、その他の請求書を一目で把握できます。POSTで大量の請求書を効率よく処理し、テレワーク環境においても、請求支払業務を完結します。

- 複数メンバーでのタスク処理
- 電子帳簿保存法、インボイス制度に対応
- 請求書データの勘定項目を自動で入力
- 管理情報補完が可能な学習マスタを搭載

## DPS for finance

# BASE

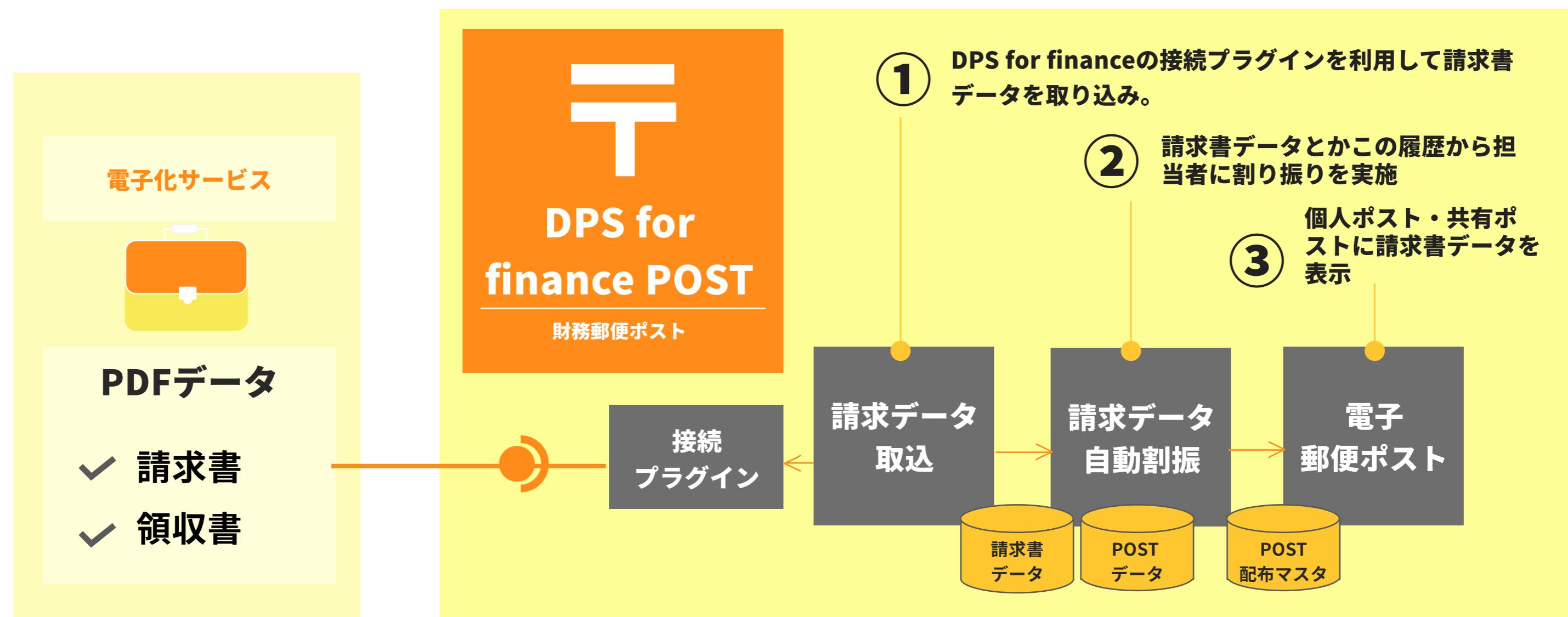
多くの企業に共通する会計機能を備えたフロントソリューションです。紙に依存した経理業務を改善してテレワーク環境を実現。管理機能により計上漏れ防止や決算早期化を実現します。

- 決算早期化、計上漏れの防止
- 煩雑なチェック業務を省力化
- 担当者の割り当てをスピーディーに
- Excelとシステムの二重入力を排除

# DPS for finance POSTとは？

## 請求書データをワークフローに連携し、テレワーク環境においても業務効率化

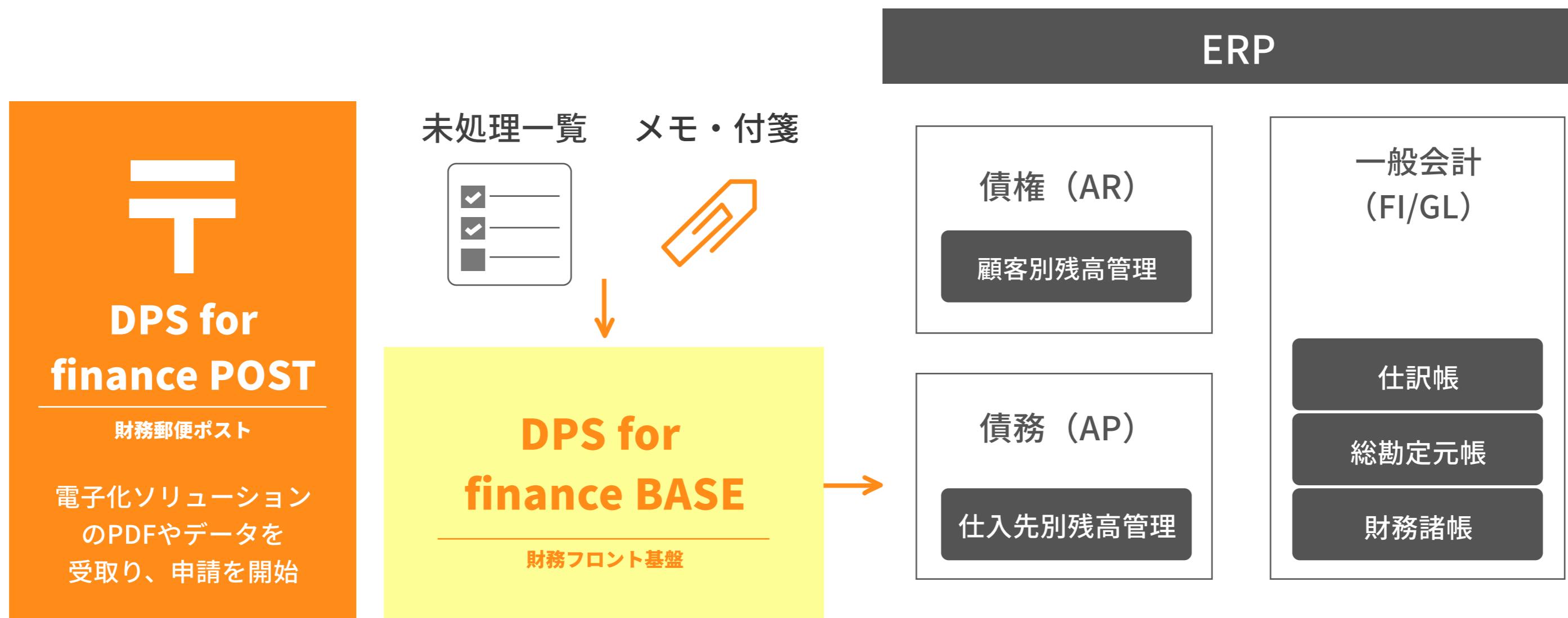
請求書電子化ソリューションと連携し、ペーパーレス化や支払依頼申請のデータ入力を最小化を実現致します。請求支払業務のテレワーク化を支援し円滑な支払業務遂行に貢献致します。大量の請求書に対しても、複数メンバーでタスク処理を実施したり、複雑な支払業務承認フローにも対応しており、経理部門の業務改善を支援するソリューションです。



# DPS for finance BASEとは？

## 経理部門の業務効率化につながる機能を部品化したシステム基盤

DPS for finance BASEは利用頻度の高い機能と会計システム連携機能を部品化した基盤です。管理機能により計上漏れ防止や決算早期化を実現したり、システムチェック機能による経理部門のチェック工数の削減を支援します。



会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

特長

機能

料金

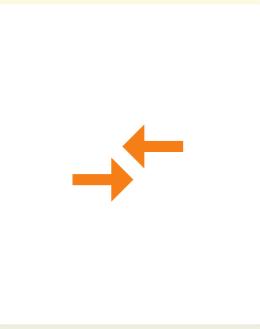
DPS for financeと繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# DPS for finance POST 機能

## 電子請求書連携



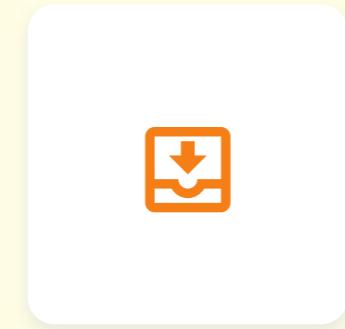
請求書電子化サービスと連携するプラグインを用意しています。請求書電子化サービスから請求書データを取り込むことができます。

## 支払依頼申請



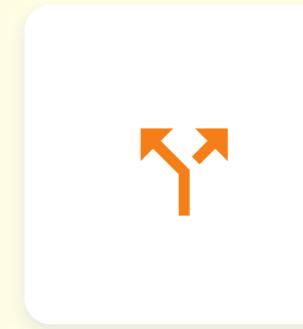
請求支払い申請の画面に取り込んだ請求書データが初期入力されます。請求書を見ながらの二重入力を減らすことができます。

## 電子化郵便ポスト



電子化された請求書データを一覧表示します。管理者が請求書データの振り分けもしくは担当者から請求書データの引き取りすることで業務を平準化できます。

## 自動振り分け



過去担当した案件と同様の請求書データについて、処理履歴から自動で担当者に割り振りを行います。

## 承認



申請時に指定の承認者・組織を選択するなど、複雑な承認ルートに対応し内部統制強化を実現します。

## 学習マスター



過去の案件の振り分け履歴を学習し、同様の請求書データを振り分け履歴に基づき自動で割り振りを行います。

## インボイス制度対応



請求書電子化サービスと連携するプラグインを用意しています。請求書電子化サービスでインボイス制度に対応することができます。

## 電子帳簿保存法連携



電子帳簿保存法に対応した請求書電子化サービスと連携することで、会計システムに転記後のデータを電子帳簿保存法に対応した形で電子保管することができます。

## カスタマイズ



個社要件に応じて申請画面や一覧表示を柔軟にカスタマイズすることができます。各種部品・APIを取り揃えており、コストを抑えて要件に対応できます。

## 外部サービス連携



請求書電子化サービスと連携するプラグインを用意しています。外部サービスと連携できるAPIを用意しており、RPAやOCRなど最新技術と連携できます。

# DPS for finance BASE 機能

## 未処理一覧



現場部門で申請されると、経理部門の未処理一覧に表示。その月どの位の処理件数があるのか、ステータスがどこまで進んでいるのか事前に把握出来ます。

## 申請画面



経理部門用にオーダーメイドで画面開発が出来ます。二重入力の排除や毎月の定型業務をシステム化する事で申請漏れや月次計上漏れを防止出来ます。

## 承認ルート作成



nta-martのワークフローエンジンを活用して、日本企業の商習慣にあった複雑な経理業務承認プロセスに対応。

## エラーチェック



エラーチェックロジックを部品化しているので、勘定科目を把握していない現場部門は汎用マスターから科目検索することでミスを防止し、経理部門のチェック工数を削減出来ます。

## 通知



現場部門からの申請が経理部門に到達すると通知が飛んできます。また処理が滞っている場合、担当者への催促通知を送る事が出来ます。

## ワークフロー申請



電子化ソリューションから連携された請求書データをそのままERPにデータ連携するのではなく、必ず経理部門にて確認/承認をすることで、コンプライアンスを強化します。

## メモ・付箋業務の電子化



経理部門様がパソコンに付箋貼って、計上漏れが無いように日々運用されている「メモ・付箋業務」を電子化しました。この機能を活用し、月次計上漏れを防げます。

## ERP連携



SAP S/4 Hana連携モジュールは標準機能と搭載されています。その他ERPとの接続も可能ですので、お問合せください。

## 伝票一覧画面



転記月ごとに検索・確認ができます。年間・月額の契約についても、開始年月や終了年月など契約期間を見える化したり、これまでの処理回数を一覧で確認できます。

## ERP転記機能



決算早期化を目的とした機能です。ワークフローの申請状態が途中でも、経理管理者の権限を持ってERPに転記できます。転記後は、申請内容の変更はできません。

会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

特長

機能

料金

**DPS for finance**と繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# 料金

## DPS for finance POST

クラウド

価格 月額:80,000 (※1)

オンプレミス

価格 ¥3,000,000 (※2)

### メリット

- ✓ 複数メンバーでのタスク処理
- ✓ 入力業務と仕訳業務を大幅に省力化
- ✓ 電子帳簿保存法、インボイス制度に対応



(※ 1) クラウドの導入は別途、Accel-Mart Plusの導入が必須となります。

(※ 2) オンプレミスの導入は別途、intra-mart Accel Platformの導入が必須となります。

## DPS for finance BASE

クラウド

価格 月額:100,000 (※3)

オンプレミス

価格 ¥4,000,000 (※4)

### メリット

- ✓ 決算早期化、計上漏れの防止
- ✓ 煩雑なチェック業務を省力化
- ✓ 担当者の割り当てをスピーディーに



(※ 3) クラウドの導入は別途、Accel-Mart Plusの導入が必須となります。

(※ 4) オンプレミスの導入は別途、intra-mart Accel Platformの導入が必須となります。

会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

特長

機能

選べる2つのプラン(概要)

導入事例

料金

**DPS for finance**と繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# DPS for financeと繋がる他社プロダクトの紹介

請求書電子化サービスをDPS for finance 財務シリーズと連携させて活用することで、  
請求書電子化後の経理業務改善を推進し、電子帳簿保存法にも対応します。連携できる請求書電子化サービスは、今後も拡大していきます。

Sansan株式会社

請求書受領から、月次決算を加速する



詳細は下記、HPをご覧ください。

<https://bill-one.com/>

株式会社NTTデータビジネスブレインズ



詳細は下記、HPをご覧ください。

<https://pandora-climber.jp/>

株式会社インフォマート



詳細は下記、HPをご覧ください。

<https://www.infomart.co.jp/seikyu/index.asp>

会社概要

会計フロントシステムとは

**DPS for finance 財務シリーズとは**

特長

機能

料金

**DPS for finance**と繋がる他社プロダクトの紹介

問い合わせ先



# 問い合わせ先

もっと詳しく知りたい、ご相談されたい方はお気軽にお問い合わせからご連絡ください

NTTデータイトラマート お問い合わせ

<https://dps.intra-mart.jp/finance/contact.html>

各種資料ダウンロード（お役立ち資料）

<https://dps.intra-mart.jp/forfinance/material.html>